



株式会社 アルコン

第18期 環境経営レポート (2023年度)

(対象期間: 2023年 6月～2024年 5月)



発行日： 2024年8月9日

I. ごあいさつ

株式会社アルコンは、平成18年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、土木工事、舗装工事、浚渫工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、定期的に経営における課題とチャンスを確認化にし、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油）
4. 事業活動全般における廃棄物の削減を推進します。
5. 土木工事現場等での発生材のリサイクル率の向上（再資源化）を推進します。
6. 水道使用量の削減を推進します。（総排水量の削減）
7. 環境に配慮した施工を推進します。
8. 社内のIT化を積極的に進め業務の効率化を推進します。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2015年1月15日
改定日：2020年10月20日

代表取締役 澤西 龍太

II. 組織の概要

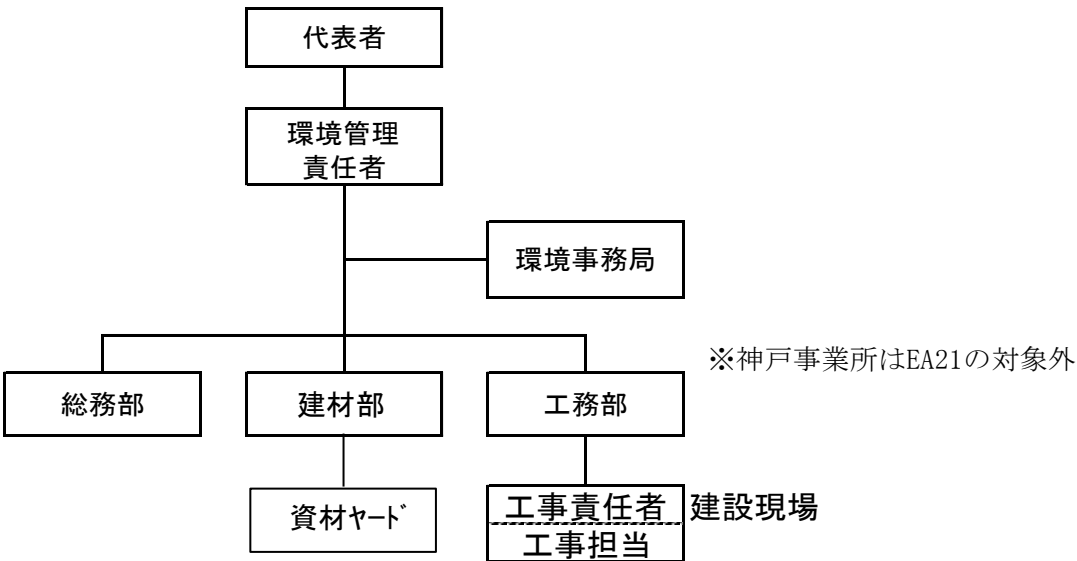
- (1) 名称及び代表者名
株式会社アルコン
代表取締役 澤西 龍太
- (2) 所在地
・本 社 〒672-8063 兵庫県姫路市飾磨区須加15番地
・資材ヤード 〒672-8076 兵庫県姫路市飾磨区今在家字近藤新田無番地
・神戸事業所 〒658-0043 兵庫県神戸市東灘区御影浜町3-2
鹿島道路(株)神戸合材製造所内
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 工務部 鬼本 卓哉 TEL:079-233-0136
担当者 工務部 鬼本 卓哉 TEL:079-233-0136
E-Mail: t.onimoto@sawanishi.co.jp
- (4) 事業内容
土木工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、砂・石材の販売
許可番号 兵庫県知事 特-5 第460616号 許可年月日 令和6年2月5日
許可期限 令和11年2月4日

(5) 事業の規模

売上高 13.76億円（令和5年度実績）
各事業所の規模

	本社	資材ヤード	合計	神戸事業所	合計
従業員	6名	5名	11名	3名	14名
延べ床面積	167㎡	10㎡	177㎡	10㎡	187㎡
活動対象範囲	対象	対象	-	対象外	-

(6) 推進体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・経営における課題とチャンスの明確化を実施 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営活動レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 （工事代理人）	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

（7）事業年度 6月～翌年5月
※第18期とは、2023年6月1日～2024年5月31日の1年間を示す。

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社アルコン
対象事業所： 本社、資材ヤード
対象外： 神戸事業所（※鹿島道路(株)のEMSの傘下にあるため除外する。）
活動： 土木工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、砂・石材の販売

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	第14期 (2019年度)	第15期 (2020年度)	第16期 (2021年度)	第17期 (2022年度)	第18期 (2023年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	101,933	111,011	140,947	251,888	257,099
電力	kWh	5,613	6,183	6,637	6,512	6,966
自動車燃料	kg-CO ₂	22,624	22,934	24,807	24,534	27,537
ガソリン	L	7,955	7,791	8,871	10,567	11,861
軽油	L	1,584	1,847	1,605	—	—
ダンプ燃料	kg-CO ₂	—	—	—	106,784	101,946
軽油	L	—	—	—	40,690	38,847
重機燃料	kg-CO ₂	77,434	86,111	113,810	118,545	125,449
軽油	L	29,506	32,812	43,367	45,171	47,802
廃棄物排出量	トン	0.022	118.022	0.021	24.122	0.022
一般廃棄物	トン	0.022	0.022	0.021	0.022	0.022
産業廃棄物	トン	0.000	118.000	0.000	24.100	0.000
水使用量	m ³	32.0	45.5	33.0	37.0	37.8

※化学物質は使用していません。

V. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		第16・17期 (2021・22年 度) 基準年度	第18期 (2023年度)	第19期 (2024年度)	第20期 (2025年度)	第21期 (2026年度)
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	247,465	243,584	241,108	238,635	236,161
電力使用量削減	kWh	6,637	6,504	6,438	6,372	6,305
	kg-CO ₂ 対基準	2,064	2,023	2,002	1,982	1,961
自動車燃料の削減 (ガソリン)	kg-CO ₂ L 対基準	24,807 8871/1605 (ガソリン/軽油)	24,311 10,471	24,063 10,365	23,815 10,258	23,567 10,152
ダンプ燃料の削減 (軽油)	kg-CO ₂ L 対基準	106,784 40,690	105,716 40,283	104,648 39,876	103,580 39,469	102,513 39,062
重機燃料の削減 (軽油)	kg-CO ₂ L 対基準	113,810 43,367	111,534 42,500	110,395 42,066	109,258 41,632	108,120 41,198
II. 廃棄物の削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	21.0	20.6	20.4	20.2	20.0
産業廃棄物 適正管理			適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
	総排出量	0.00	—	—	—	—
	再資源化量 t	0.00	—	—	—	—
III. 建設リサイクル率 の向上	%	100	100	100	100	100
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準	33.0	32.3	32.0	31.7	31.4
V. 海洋汚染に 配慮した施工		適正施工 —	適正施工 —	適正施工 —	適正施工 —	適正施工 —
VI. 粒度のコンブレーション削減	件	2	0	0	0	0

注1) 電力の二酸化炭素排出量への調整後排出係数は、令和2年度関西電力公表の
0.311kg-CO₂/kWh を使用。

注2) “V. 海洋汚染に配慮した施工” は、ガイドラインで要求されている“自らが施工・
販売・提供する製品及びサービス に関する項目”に該当する。

注3) 基準年度の各数値は16期(2021年度) の各数値に17期(2022年度)のダンプ燃料を加えた
数値である。

(2) 第18期（2023年度）の実績

項 目		年 度	第18期（2023年度）の実績			
			第18期（2023年度）の実績			
			(2023年6月～2024年5月)			
		第16・17期 (2021・22年 度) 基準年度 基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	247,465	243,584	257,099	95%	△
電力使用量削減	kWh	6,637	6,504	6,966	93%	×
	kg-CO ₂ 対基準	2,064	2,023	2,166		
自動車燃料の削減 (ガソリン)	kg-CO ₂ L 対基準	24,807 8871/1605 (ガソリン/軽油)	24,311 10,471 △2%	27,537 11,861 +11%	88%	×
ダンプ燃料の削減 (軽油)	kg-CO ₂ L 対基準	106,784 40,690	105,716 40,283 △1%	101,946 38,847 △5%	104%	○
重機燃料の削減 (軽油)	kg-CO ₂ L 対基準	113,810 43,367	111,534 42,500 △2%	125,449 47,802 +10%	89%	×
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	21.00	20.60 △2%	22.00 +5%	94%	×
産業廃棄物 適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○
	総排出量	0.00	—	0.0	—	—
	再資源化量 t	0.00	—	0.0	—	—
III. 建設リサイクル率 の向上	%	—	100	0.0	—	—
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準	33.0	32.3 △2%	37.8 +15%	85%	×
V. 海洋汚染に 配慮した施工		適正施工	適正施工	適正施工	適正施工	適正施工
		—	—	—	—	○
VI. 粒度のコンブ レン削減	件	2	0	0	—	○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、
達成度＝実績÷目標×100%
注2) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成
注3) 基準年度の各数値は16期(2021年度)の各数値に17期(2022年度)のダンプ燃料を加えた
数値である。

VI. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (目標やや未達成)		
(下記参照)		(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	クールビズ・ウォームビズを行い、設定温度を明示し意識づけを行った。今後も左記の取組を継続する。
・不要照明の消灯	○	今後も左記の取組を継続する。
・設備の空運転禁止	○	こまめに入・切の操作をする。今後も左記の取組を継続する。
自動車燃料の削減 (目標未達成)		
・アイドリングストップ	○	意識し行う。今後も左記の取組を継続する。
・急加速・急停車の防止	○	時間に余裕を持って行動する。 今後も左記の取組を継続する。
・無理・無駄のない運転を心掛ける	○	車間を確保しなるべく一定の速度で走行するよう心掛ける
ダンプ燃料の削減 (目標達成)		
・定期点検・作業前点検を行う	○	忘れないよう行う。
・急加速・急停車の防止	○	緩やかなブレーキとアクセルを心掛ける。
重機燃料の削減 (目標未達成)		
・定期点検・作業前点検を行う	○	忘れないよう行う。
・急加速・急停車の防止	○	移動時にバケット内の砂を落とさない走行を心掛ける。
廃棄物の削減		
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・裏紙の再利用	○	裏紙使用を意識徹底する。今後も左記の取組を継続する。
・ミスブリを減らす	○	印刷前に再確認する。今後も左記の取組を継続する。
産業廃棄物の適正管理 (実績なし)		
・マニフェストの交付・確認	-	適正管理を行う。今後も左記の取組を継続する。
建設リサイクル率の向上 (実績なし)		
・分別によるリサイクル推進	-	今後も左記の取組を継続する。
水使用量の削減 (目標未達成)		
・節水の周知徹底	○	今後も左記の取組を継続する。
・節水シールの貼付	○	蛇口付近に節水シールを貼った結果、意識が向上した。
海洋汚染に配慮した施工 (適正施工)		
・海洋汚染に配慮した施工	○	汚濁防止フェンスの適正使用
	○	船舶や岸壁から海にゴミのポイ捨てをしない。
粒度コンプレッションの削減 (目標達成)		
・定期的に顧客要望を確認する	○	今後も左記の取組を継続する。
情報の共有化を行う (目標達成)		
・PCやスマホを有効活用する	○	今後も引き続き取り組みを継続する
・データはクラウドに保存する	○	今後も引き続き取り組みを継続する
安心・安全・迅速な対応 (目標達成)		
・毎日1回以上の連絡をする。	○	今後も引き続き取り組みを継続する

【目標未達成の原因】

電力使用量の削減	: 常時使用しているパソコンの増加や酷暑が影響していると思われる
自動車燃料の削減	: 基準年より人員が増えた為
重機燃料の削減	: 基準年途中にバックホウが増えた為
一般廃棄物の削減	: 基準年より人員が増えた為
水使用量削減	: 基準年より人員が増えた為
建設リサイクルの向上	: 元請として産業廃棄物を排出していない為

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	実績なし
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出	実績なし
建設業の再生資源利用省	再生資源、建設工事副産物の再利用	実績なし
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の規程	低騒音型・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	実績なし
水質汚濁防止法	油、有害な化学物質の流出事故時の措置と届出	事故なし
消防法	(防火対象物) 防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備の点検整備、避難設備の維持	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、記録の保管(対象機器廃棄後3年間) 漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	油等流失時の通報 油等排出があった場合の防除措置	事故なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針について	見直しの有無	☐ 有	☒ 無
環境経営目標・活動計画について	見直しの有無	☐ 有	☒ 無
実施体制について	見直しの有無	☐ 有	☒ 無

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。初年度から比較すると二酸化炭素排出量は削減されつつありましたが、ここ数年は重機やダンプの台数並びに人員増加に伴い二酸化炭素排出量も増加傾向ですが、無駄をなくす行動や取り組み・エコドライブをできることから実行し、今後も、意識すれば可能な目標を掲げ、社員一丸となって取り組みます。
2024年 8月 6日 代表取締役 澤西 龍太

IX. 環境活動の紹介



<エコアクション環境方針掲示>



<ごみの分別>



<省エネ>



<省エネ2>